

学校だより 令和4年度 2月号

NO.10



のびる ほどっ子!

令和5年1月31日

横浜市立保土ケ谷小学校

学校長 小川 克之



ほっとな未来へ 3C!

決意を新たに

副校長 日野 る美

今年の大寒は、1月20日から2月3日です。大寒は、二十四節気最終節で、最も寒い時期という意味です。先週は大寒波が襲来とのニュースが報じられ、今年の横浜の最低気温が記録されました。

大寒の最終日の2月3日は、季節の節目である節分です。本来は、「立春、立夏、立秋、立冬」のことをいい、年4回あります。しかし、旧暦（明治5年まで使用されていた太陰太陽暦を一般に旧暦と呼びます。保土ケ谷小学校が創立される前年の話です。）では立春が新しい年の始まりでしたので、節分は大晦日にあたるとても大切な日です。そのため、室町時代ごろから節分といえば、立春の前日をさすようになったそうです。

さて、節分といえば、「鬼は外、福は内」でおなじみの豆まきです。そこで、子どもたちなりにどのような鬼を追い払いたいのかを聞いてみました。

- 管理できない鬼・・自分を管理できるようになりたいから
- けんかしていらいらしてしまう鬼・・きょうだい喧嘩が増えてきたけど仲良くしたいから
- あきらめてしまう鬼・・もっと野球が上手になりたいからあきらめないようにしたい
- めんどうくさがりやの鬼・・話しかけられたときに流さないで、きちんと対応した方がいいと思うから
- 勉強嫌いの鬼・・勉強が好きになりたい 算数ができるようになりたいから

それぞれの子どもたちの心の中には、「なりたい自分・こうしたいと思う自分」がいます。ぜひこの節目の時期、それぞれのご家庭で決意を新たに迎えてみるのはいかがでしょうか。

まだまだ寒い日は続きますが、木々は春の訪れを告げています。150周年記念樹の紅梅（キッズの出入口付近にあります）は、日を追うごとに開花し、その近くにある蠟梅も綺麗な花を咲かせています。その他の木々も小さな芽が少しずつ膨らみ、春の芽吹きのために準備を始めています。

2月4日は立春。暦の上では春です。今年度もあと2か月となりました。この1年間で蓄えた力をもとに、新しい環境、新しい学年で自分なりの花を咲かせてほしいと思います。